

2002年度 国内奨学金受賞者

I 一般学生

A 大学院生 9名

氏名	大学院	研究科・専攻	課程・学年	推薦	出身大学
足立里美	東京家政大学大学院	家政学・人間生活学	修士1年	同大学院	武蔵野大学
神江沙蘭	東京工業大学大学院	工学・応用化学	修士1年	同大学院	東京工業大学
中島由佳	東京都立大学大学院	理学・社会学	修士2年	同大学院	筑波大学
上野美香	筑波大学大学院	工学・社会学	修士2年	同大学院	筑波大学
岡崎香子	龍谷大学大学院	文学・文化学	修士2年	同大学院	龍谷大学
片山良子	関西学院大学大学院	医学系	修士前期	同大学院	関西学院大学

B 学部生 5名

氏名	大学	学部・学科	学年	推薦	出身高校
鈴木恵子	慶應義塾大学	法学部・法律学科	3年	同大学	県立浜松北
千田幸織	上智大学	文学部・国文学科	3年	同大学	都立狛江
高橋尚子	日本女子大学	家政学部・住居学科	3年	同大学	Dana Hall
掘越彩香	お茶の水女子大学	理学部・生物学科	3年	同大学	都立日比谷
内田香織	大阪大学	医学部・医学科	3年	同大学	頌栄女子学院

II 安井医学奨学生 1名

氏名	大学院	研究科・専攻	課程・学年	推薦	出身大学
大西 礼子	東京女子医科大学大学院	医学・外科系眼科学	博士 3年	同大学	東京女子医科大学

III ホームズ奨学生 1名

氏名	大学院	研究科・専攻	課程・学年	推薦	出身大学
内田 博子	実践女子大学大学院	文学・美術史学	修士 2年	同大学	実践女子大学

IV 社会福祉奨学生 4名

氏名	大学・大学院	研究科・専攻/学部・学科	課程・学年	推薦	出身大学
亀井 祐美	同志社大学大学院	文学研究科・美学および芸術学	博士後期 1年	京都支部	大阪芸術大学
木村 りえ	フェリス学院大学	音楽学部・器楽学科	3年次	神奈川支部	筑波大学
竹内 尚子	東洋英和学院大学	人間科学部・人間科学科	4年次	神奈川支部	筑波大学
山本由美子	学習院大学	文学部・史学科	2年次	同大学	筑波大学

二〇〇二年度国内奨学金受賞者

専攻分野と将来の希望

(提出論文概要)

【一般奨学生・大学院生】

今後の子育て支援に関する

一考察

足立里美

現在の女性の社会への希薄さを助勢して、子育ては、その地位を向上させて対するニーズが多様化するという向社会的な変化しています。現象を生みだして、私は修士論文では、障害を伴った幼児に着目し、核家族化を余儀なくし、総合保育における健康、都市化の利便性の常幼児との仲間関係を研究しました。しかし、その裏は地域の相互扶助力の

こには健全幼児がどのような自己意識を持っているのかという詳細な知見を抱かざるままに、また、障害幼児や健全幼児の家庭環境や、保護者の思いを考慮することができません。博士論文では、このような今後の課題に對する知見を深め、仲間関係の本質を探るとも、保護者の意向も取り入れ、今後の子育て支援に關連した、カウンセリಂಗマインドの視点からの

民主的立法の模範的基礎

神江沙蘭

私は、民主的手続きに從って決定される法律の内容が、いかにして、国民にとって正当であり得るのか、という点を研究してきた。今後、引き続くこの点の検証を深めていきたい。

考察も取り入れていき、現在ノーマライゼーションの風潮を受け、健全幼児と障害幼児を同一の場で保育する総合保育もかなりの増加が見られ、研究も行われるようになっていきます。しかし、それらの研究は総合保育の理念や効果に関するものがほとんどであり、かつ短期的・一過性です。ゆえに、実際に保育の場を置いて、健全幼児と

立法に関しては、当該法律が民主的手続きに從って決定されたのである。常に正当である、という考え方が存在する。これは、民主的手続きとこの研究を行うことにより、女性特有の感性を生かしながら、現在の保育・教育の現場で不

博士論文においては、立法の中でも、基本法や一般合意の存在意義に着目し、これらの基本法等に盛り込まれた抽象的な正義に關わる理念が、個々の関連法律の形成や決定にどのような影響を与えているかを検討する。その際、複数の国の政策形成の比較に基づき、各国の社会的条件において、基本法や一般合意の執行を阻害しないために、どのような制度が必要とされるかを考察する。

将来的にも、政策形成のための制度設計の問題を、実証的アプローチと規範的アプローチの双方の視点から、論じていきたい。その際、データを可視化できる社会的選好、利益だけでなく、可視できない政治的言説の視力等にも視点をあてていく。

立法に關しては、当該法律が民主的手続きに從って決定されたのである。常に正当である、という考え方が存在する。これは、民主的手続きとこの研究を行うことにより、女性特有の感性を生かしながら、現在の保育・教育の現場で不

このままの研究から、ニトロゲナーゼは金属クラスター部位に窒素を取り込み、プロトン化と電子供与を速やかに繰り返すことにより、窒素を水素化することが明らかになっている。本研究は、これを明らかにし、ポリヒドリドクラスターを用いてニトロゲナーゼを用いてニトロゲナーゼ

自然環境であったことが明らかになった。人々の森林の利用方法は地域の生業と密接な関係があることを解明した。修士論文での研究は、私のこ

カルパチア山脈地域の森林利用とその文化的背景

中基由佳里

私の修士論文は、中欧にまたがるカルパチア山脈地域における、森林という環境利用と人間文化との関係を解明することを目的とする。地理学での中欧諸国は、これまで経済や観光の研究が中心であり、それ以外の分野、特に人間文化との関わりに関する研究はほとんどない。そのため本

今後は、地域の歴史や生業と深い関係が想定される宗教行事など、文化的な背景についての調査を中心に研究を続けていきたい。

イスラーム家族法の女性観および現代社会との関わり

岩崎真紀

現代世界において、イスラーム女性の現状を明らかにすることを目的として、私は、「4人妻」が許されていることなどから、被抑圧者としてのイメージばかりが先行しているのが実情である。本研究では、このようにイスラーム法であるが、神の言葉が書かれている聖典クルアーンが信仰の中心にあり、クルアーンの教えを法律化したものがイスラーム法である。しかし、通常の宗教法が宗教に關連した事柄だけを対象とするのとは大きく異なり、イスラ



奨学金贈呈式 1月11日 於京王プラザホテル

ポリヒドリドクラスターによる窒素分子の活性化

中島裕美子

窒素分子の活性化、すなわちN≡N三重結合の切断は大きな吸熱を伴うであり、窒素からア

私は、神の言葉が書かれている聖典クルアーンが信仰の中心にあり、クルアーンの教えを法律化したものがイスラーム法である。しかし、通常の宗教法が宗教に關連した事柄だけを対象とするのとは大きく異なり、イスラ

ム法は、信徒の宗教的生活のみならず、現世的生活も含めた生活全般を規定する、非常に重要な生活規範であると言える。

19世紀後半の植民地主義の下、西欧法が導入されたことにより、それまでのイスラーム法に依拠したイスラーム社会の法制度は大きな変化を遂げたが、婚姻や離婚、相続、養育など女性に関係する「家族法」と言われる領域は、多くの国において、現在でもイスラーム法の下にある。このようにイスラーム家族法の重要性を踏まえた上で、本研究では、イスラーム

酸化物熱電薄膜デバイスによる高効率エネルギー変換とその応用に関する研究

上野 美香

エネルギー資源の枯渇が深刻な問題になっている現在、エネルギーの再資源化が必要不可欠である。それにもとない工場や発電所、廃棄物焼却炉などから膨大に排出される廃熱を回収し、熱電変換素子により廃熱から電気エネルギーへの再資源化の必要性が高まっている。熱電変換素子は、可動部がなく小型、軽量であり、消耗部分をもたず高信頼性で素子の寿命は長く、排出物や騒音を一切出さないという多くのメリットを持つ。

これまで、熱電変換材料はテルルや鉛などの環境負荷の大きい重金属が用いられてきたが、これらは環境負荷が大きく、高熱環境下での使用に限ら

熱・電気伝導メカニズムを明らかにし、得られた知見をもとに、更なる性能向上を目指している。

タルー族の農耕生活誌

上野 貴子

私の研究は、従来、調査があまり行われなかった、ネパール南部タラ平原野において農耕生活を営む先住民族タルー族に関する民族植物学調査を目的としている。ネパール研究においては山岳部が中心とされてきたが、タラ平原野の民族と農耕の研究を中心としたものはほとんどない。高度差の大きなネパールは環境の多様性が大きく、高度や気候の変化に伴って植物、作物や家畜また耕地、集落や家屋のたがずまいも変わっていく。また、住んでいる民族もこれによって変化している。しかし、この場合、高度が民族の分布を決めているというより、それぞれの民族は特定の環境を好み、そこに適した資源利用体系や生活技術を開発してきたと考えられる。また、食文化は民族を特徴づける一つの文化的側面であり、人間の生存・生活の最も基盤をなすものである。報告することにした。

強誘電体PbTiO₃の構造相転移の研究

片山 良子

擬ペロブスカイト型強誘電体PbTiO₃は60年代に盛んに研究が行われた物質で、広い温度領域における逐次相転移が報告されています。非常に大きな非線型光学定数に加え、圧電性・焦電性をもつことが知られています。その複雑な構造のため、単結晶の作製が困難であり、まだ応用には至っていません。このような諸特性を理解し応用するために結晶の構造・対称性を解明することが不可欠です。この分野の研究はほとんど行われておらず、相転移に関する報告は、結晶の振る舞いは明らかでないままです。また、最近奇心を強くかきたてられていたからです。また、最近「どう使うか」という応用研究が注目を浴びていますが、良い物を作り出すには物質を原子レベルで見つめ理解する基礎研究が不可欠であり、そこへの貢献という意義を感じています。何も無い所に一からストーリーを立てて考えるのはとても難しいことですが、未知の領域を自分の手で開拓していくことはとても面白くやりがいを感じています。私たちはPbTiO₃の相転移の最も有効な条件を明らかにすること、軸索切断による神経細胞死誘導機構を解明する基礎的研究のみならず、電気刺激による神経細胞死制御の臨床応用を図る上で重要と考えられる。そこで現在私は電気刺激を加える最適なタイミングはいくつかを明らかにするために、この電気刺激が視神経切断直後ではなく、切断3時間後ではなく、切断3時間前、切断直前、切断3時間後、切断24時間後に加えられた場合、生存促進効果がどのくらい得られるのかについて検討している。電気刺激開始のタイミングを視神経切断直後より移行させると、生存促進効果が期待できる。

私の目指す裁判官

鈴木 恵美子

私は裁判官になることを志し、現在さまざまな法律を学んでいます。弁護士は依頼された片方当事者のために、反対に、検察官はいわば犯罪の被害者のために、法廷で主張し活動します。私が裁判官を志した理由は、裁判官は両当事者の立場に立つて考え、双方の調和を図るからです。

そして、私が最も関心があるのが少年事件です。少年事件は対応が甘いとよく言われ、非道な事件が起こる度に「もっと重い刑を科すべきだ」と世論が沸きます。しかし、少年審判そのものは、単に非行少年の処遇を決めるだけではなく、彼にとって教育の場であるべきです。それまでの環境に問題があった場合、完全な不処分にしないように

成島柳北の著書に見る明治という時代の問題性について

千田 幸織

私の研究課題は近代文学であり、その中でも特に成島柳北の著書についてです。柳北は幕臣であり、幕末には外国奉行等の要職を務めたが、それ故に明治維新後は鬱屈した日々を送り、新聞人として転身を図った後も、一貫して反明治政府的な姿勢をとった人物である。彼の文学活動は明治以前からであるが、私は特に、維新後の柳北の文学およびその生き様について興味を持っています。

明治期、日本の政情は大変不安定なものであった。25年以上続いていた幕藩体制は、戊辰戦争によって崩壊し天皇親政になったものの、その移行はうまく行かず、主君士族階級の不満が多くあった。江藤新平や西郷隆盛のように明治政府内での争いもあり、成島柳北のように旧幕臣からの、明治政府に対する批判もあつた。柳北は、その反政府的考えを著書の中に著すことで旧幕臣としての己を貫いたと言える。近代化を目指す明治が、近代化を拒否する明治日本にあって維新の残存や、それに起因する明治新政府内での軋轢、そして日本という国家の不安定さも、柳北の著書の中に表れている。徳川幕府が崩壊し明治の世になっても、あくまでも旧幕臣として生きることを選んだ成島柳北という人物。私は柳北の著書およびその生涯を通して、明治という時代が抱える問題性が、実際いかなるものであったのかというところを追ってみたい。

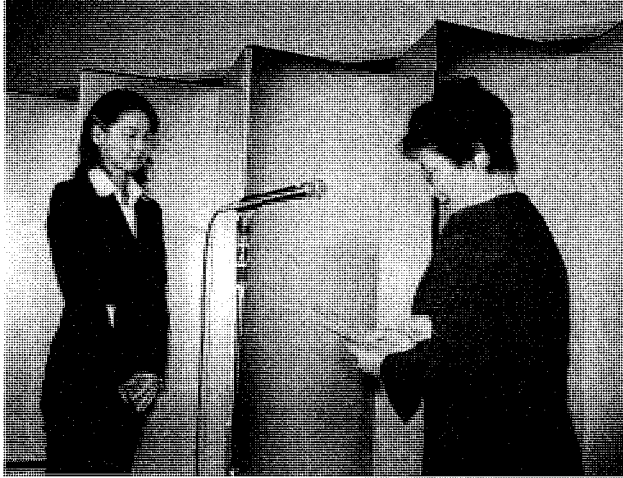
女子大学の未来—女性の活動を24時間サポートする複合施設

高橋 尚子

私は日本女子大学の目白キャンパスを改装することで、女性の活動を24時間サポートする複合施設をつくる設計案を、卒業制作としてまとめたと考えている。

この複合施設は生活に必要な居住空間・託児所・スパーマーケットを備え、幼稚園から大学まで幅広い年齢層に学びの場を提供する。また、女性の社会的地位や生活の向上に貢献するNPOやNGOにも活動の場を提供し、キャンパス内では女性に関する国際会議も行われる。大学の授業や施設は高齢者にも開放され、さまざまな世代の女性が国際的な雰囲気の中で交流できる。

私はこの卒業制作を通して、生活の場・学びの場・交流の場を一つにする中で、女性にやさしい住環境を作り出そうと考えている。これからは、ITの飛躍的な発達により、会社や学校に行かなくても自分の好きなところで仕事や勉強ができるようになると、全く家の外に出なくても生活が成り立つてしま



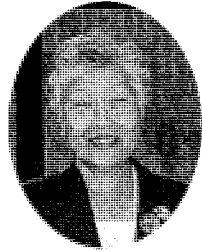
奨学金贈呈 今井会長(右)と中島裕美子さん(東京工業大学大学院生)

IFUWからのメッセージ

暗いニュースに満ちた2002年でした。2003年の元旦、青木IFUW会長から、新年のメッセージが届きました。

明日に向かって

IFUW会長 青木 怜子



新年おめでとつ(ごい)ます。今年こそは、穏やかで平和な年となりますように。思えば私も、何度かこのことを祈念し年の始めを寿いできたであらうか。

元旦に見る「初日の出」を平穏と繁栄のシンボルとして称えるのは、日本だけでなくアジアに共通した想いと習わしであり、さらに「日の出」そのものが世界の人々にとり、

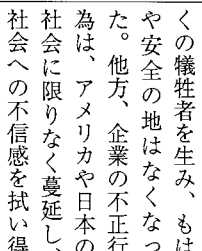
「日の出」に託している

IFUWでは、2001年のオタワ大会で、こう3年間のアクションプログラムに、「人が人として生きられるグローバリゼーション」を取り上げ、72カ国の会員による意識と行動を促している。手を焼くような社会腐敗に對し、私たちが何ができるのか。すくむことなく、怯むことなく考えていかなければならない。

IFUWの活動シンボルであるランブは、決して魔法のアラジンランブではない。日々、世を照らすための炎を絶やさないよう、絶えず油を注ぎ、火を灯す努力を必要とする。私たちに託しての「明日」は、日めくりのように来る明日ではなく、向かって進む凛とした決意なくして得られぬ「明日」であることを、自覚しなければならぬ。

国際人権週間を前に

松比良 節子



12月11日に主婦会館プラザFで開かれた表記の集会は、男女共同参画基本法制定から3年余を経過し、各地で男女共同参画条例ができていく中、画例作りの熱意のある自

職における女性差別や、家庭や職場などでの女性への暴力等、男女平等等ではない状況が多く残っている。選択的夫婦別姓制が自

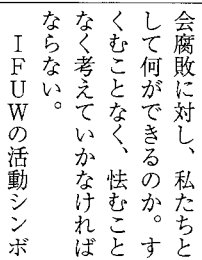
「お知らせ」

ベレンレイさん

ベレンレイさんは10月19日に来日、千葉大学環境リポート・センシングセンターで、研究されています。選考の理由は、モンゴル大学婦人協会が98年に創設された新しいメンバーであること、研究テーマが、アジアの環境問題、特に空気と地下水の汚染を最新のコンピュータ技術を駆使し

宇宙からアジアの環境汚染を調査する!

宮島 茂子



年2名ずつだったことを思うと残念! それでもたくさんの方々の寄付のおかげで、モンゴルからベレンレイ・アルテンツェツェグさんを招くことができました。

ベレンレイさんは10月19日に来日、千葉大学環境リポート・センシングセンターで、研究されています。選考の理由は、モンゴル大学婦人協会が98年に創設された新しいメンバーであること、研究テーマが、アジアの環境問題、特に空気と地下水の汚染を最新のコンピュータ技術を駆使し

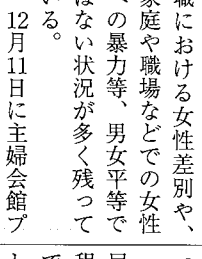
国際人権週間を前に

松比良 節子

12月11日に主婦会館プラザFで開かれた表記の集会は、男女共同参画基本法制定から3年余を経過し、各地で男女共同参画条例ができていく中、画例作りの熱意のある自

男女平等社会を前進させる集会

松比良 節子



12月11日に主婦会館プラザFで開かれた表記の集会は、男女共同参画基本法制定から3年余を経過し、各地で男女共同参画条例ができていく中、画例作りの熱意のある自

職における女性差別や、家庭や職場などでの女性への暴力等、男女平等等ではない状況が多く残っている。選択的夫婦別姓制が自

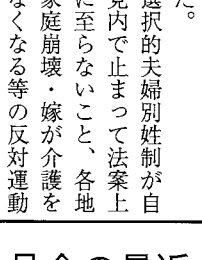
教育委員会の最近の活動状況

橋本 慶子

教育委員会は、現在、「ジェンダー」の視点から見たメディアの形成の一としての戦略として、幼児期からジェンダー意識を育むことの必要性を重視し、幼児が親しく接しているテレビ番組を中心に、新聞記事、小・中学校の教科書などに潜むジェンダー観の固

意義ある奨学金の継続を願って

大森たへ子



2002年度の「新春のつどい」(奨学金贈呈式)は、暖かい快晴に恵まれた1月11日(土)、京王プラザで行われた。130名と大勢の方の参加のもと、和やかな中にも華やかな雰囲気の中、

重要なポストでの発展にご尽力くださった先輩方、受賞者の大学の方、国際奨学金のベレンレイさんらが出席してくださいました。未来ある人々へのメッセージを込めてお話を頂戴し、有意義な一時を共有しました。

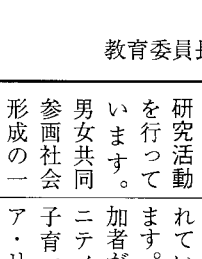
「お知らせ」

ベレンレイさん

ベレンレイさんは10月19日に来日、千葉大学環境リポート・センシングセンターで、研究されています。選考の理由は、モンゴル大学婦人協会が98年に創設された新しいメンバーであること、研究テーマが、アジアの環境問題、特に空気と地下水の汚染を最新のコンピュータ技術を駆使し

「お知らせ」

ベレンレイさん



ベレンレイさんは10月19日に来日、千葉大学環境リポート・センシングセンターで、研究されています。選考の理由は、モンゴル大学婦人協会が98年に創設された新しいメンバーであること、研究テーマが、アジアの環境問題、特に空気と地下水の汚染を最新のコンピュータ技術を駆使し

ベレンレイさんは10月19日に来日、千葉大学環境リポート・センシングセンターで、研究されています。選考の理由は、モンゴル大学婦人協会が98年に創設された新しいメンバーであること、研究テーマが、アジアの環境問題、特に空気と地下水の汚染を最新のコンピュータ技術を駆使し

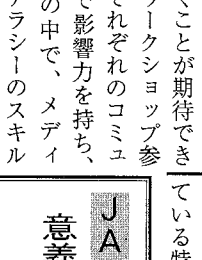
「お知らせ」

ベレンレイさん

ベレンレイさんは10月19日に来日、千葉大学環境リポート・センシングセンターで、研究されています。選考の理由は、モンゴル大学婦人協会が98年に創設された新しいメンバーであること、研究テーマが、アジアの環境問題、特に空気と地下水の汚染を最新のコンピュータ技術を駆使し

「お知らせ」

ベレンレイさん



ベレンレイさんは10月19日に来日、千葉大学環境リポート・センシングセンターで、研究されています。選考の理由は、モンゴル大学婦人協会が98年に創設された新しいメンバーであること、研究テーマが、アジアの環境問題、特に空気と地下水の汚染を最新のコンピュータ技術を駆使し

ベレンレイさんは10月19日に来日、千葉大学環境リポート・センシングセンターで、研究されています。選考の理由は、モンゴル大学婦人協会が98年に創設された新しいメンバーであること、研究テーマが、アジアの環境問題、特に空気と地下水の汚染を最新のコンピュータ技術を駆使し

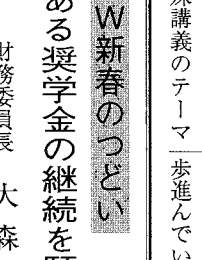
「お知らせ」

ベレンレイさん

ベレンレイさんは10月19日に来日、千葉大学環境リポート・センシングセンターで、研究されています。選考の理由は、モンゴル大学婦人協会が98年に創設された新しいメンバーであること、研究テーマが、アジアの環境問題、特に空気と地下水の汚染を最新のコンピュータ技術を駆使し

「お知らせ」

ベレンレイさん



ベレンレイさんは10月19日に来日、千葉大学環境リポート・センシングセンターで、研究されています。選考の理由は、モンゴル大学婦人協会が98年に創設された新しいメンバーであること、研究テーマが、アジアの環境問題、特に空気と地下水の汚染を最新のコンピュータ技術を駆使し

ベレンレイさんは10月19日に来日、千葉大学環境リポート・センシングセンターで、研究されています。選考の理由は、モンゴル大学婦人協会が98年に創設された新しいメンバーであること、研究テーマが、アジアの環境問題、特に空気と地下水の汚染を最新のコンピュータ技術を駆使し

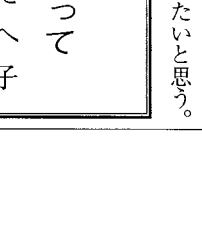
「お知らせ」

ベレンレイさん

ベレンレイさんは10月19日に来日、千葉大学環境リポート・センシングセンターで、研究されています。選考の理由は、モンゴル大学婦人協会が98年に創設された新しいメンバーであること、研究テーマが、アジアの環境問題、特に空気と地下水の汚染を最新のコンピュータ技術を駆使し

「お知らせ」

ベレンレイさん



ベレンレイさんは10月19日に来日、千葉大学環境リポート・センシングセンターで、研究されています。選考の理由は、モンゴル大学婦人協会が98年に創設された新しいメンバーであること、研究テーマが、アジアの環境問題、特に空気と地下水の汚染を最新のコンピュータ技術を駆使し

ベレンレイさんは10月19日に来日、千葉大学環境リポート・センシングセンターで、研究されています。選考の理由は、モンゴル大学婦人協会が98年に創設された新しいメンバーであること、研究テーマが、アジアの環境問題、特に空気と地下水の汚染を最新のコンピュータ技術を駆使し

〈支部にこんな方か〉

金沢支部から、勝木満子会員をご紹介します。勝木さんは小松市社会教育委員会などを務め、市国際交流協会初代会長として、市民の社会教育と国際交流に尽力し、昨年11月に小松市教育賞を受賞されました。



金沢支部 勝木 満子

〈塾の教えに導かれて〉

「女性が男性とイコールの立場で協力できる世の中にするために、女性も自立しなければならぬ」と教えられた。受賞理由となった国際交流の活動も、この教えのおかげだと思っている。

医療の裏方を40年間続け、20年前から医学をベイスとする総合的健康増進の実践と普及も目指している。この度、小松市教育賞を頂き、津田塾大学で学べた縁を有り難く噛みしめている津田の4年間、

第2回自然科学講演会報告

― ストレスの生物学 ―

2002年は理系ノーベル賞のダブル受賞に日本中が沸いたが、わがJAUWも、理系の会員が少なくない。JAUWの科学者を中心組織された科学研究奨励委員会が、文系の会員にも、Scienceの現状をわかりやすく伝え、自然科学にもっと親しんでもらうことを目的に、年に一回、自然科学講演会を開いている。昨年11月16日(土)に開かれ好評だった第2回講演会の様子、報告していただいた。

科学研究奨励委員 熊谷 晶子

科学研究奨励委員会と、70名近い参加者があつた。講演会が、室伏きみ子科学奨励委員(お茶の水女子大学理学部生物学科教授)を講師として、お茶の水女子大学において開催された。三浦東京支部長と科学研究奨励委員会委員長との挨拶に続き、大野委員の司会、熊谷委員の座長で、講演がスタートしました。肌寒い天気にもかかわらず、



パワーポイントで易しく語る室伏委員

り、講師と聴衆の熱気で、暖房をとめる程でした。「生物が外部環境から受ける種々のストレスから、身を守るメカニズムについての研究」から見てきた、ストレス応答の機構とストレス性疾患への応用について、身近な例から話が始まりました。ストレスから身を守るメカニズムを見つけた生物のみが、現在まで生き残っている、そのためストレス応答のメカニズムは、全生物に共通に存在する、という考えに基づき、ご自身の研究チームが行った研究の成果が紹介されました。

下等な生物として、は真性粘菌から、その発芽質があり、このストレスの多い現代社会の中、聴衆の興味の高さが示され、和やかな雰囲気の中で会は終わりました。

糸口になればと、引き受けた。役員の男女比は50対50、年齢も20代から60代までの多様性を徹底し、それぞれやりたいことをやって達成感と自信をつけてもらっている。例えば、◇未来を担う子供たちの教育こそ町づくりの原点と考え、子供が外国人と触れ合う機会を多く創り出した。◇国際社会で、きちんと自分の意見が言えるようになって欲しいと願う「小松市中学生話し方コンテスト」を企画し、15年続いている。◇オーストラリアの大学生を毎年迎え入れ、ホームステイしながら市内の小学校で、3カ月の日本語教育実習を行っている。町の人々も、外国人と一緒に生活することに慣れてきた。



JICA青年招聘事業 歓迎会 2002年11月

活動目標を定め、男女イコールの立場で参加したい人がいつでも参加できるオープンな組織で、のびのびと運営している。教育分野でも、ボランティア精神と市民のもてなしの心に支えられ、教育現場に国際交流と多文化理解の場を創るお手伝いできた。

新入会員(2名) 2002年11月~12月 理事会承認

- 札幌支部 上原 陶子(北大) 005-0013 札幌市南区真駒内緑町2-2-4
東京支部 大沢 京子(共業) 330-0804 さいたま市堀の内町1-257

〈理事会報告から〉

- 総務省、外務省主催の世界情報社会サミットWorld summit on the information society(WISIS)のアジア地域会合が、1月13、14、15日、新高輪プリンスホテルで開かれました。NGO組織として登録されているIFUWの青木会長の呼びかけで、青木怜子IFUW会長と井口美登利・小西厚子会員、若手メンバーの石塚浩美・勝又幸子会員が参加しました。
ご寄付ありがとうございました
今井けいさん(東京支部)から・・・国際奨励委員会へ
山崎倫子さん(東京支部)から・・・財務委員会へ
源氏物語を読む会IとII(東京支部)から・・・本部へ
おめでとうございます
元JAUW会長山崎倫子さんが、2002年度武蔵野市名誉市民になりました。

セミナー報告書準備中
3月中旬に全会員に配布しますので、それまでに必ず会費をお納めください。

〈本部委員会から〉

情報委員会、ただ今発信中

情報委員長 井口美登利

情報委員会は、第45回 総会において、「会と考える」として、支部の協力はまだ少ないのが残念です。①支部のホームページを別途作成して本部からリンクする、または②原稿を送りいただき本部で入力する、いづれかの方法で支部活動のPRを図っていただきたいと思いま



全国セミナーで、パワーポイントの指導に当たる。右端=井口委員長

個々のスキルアップですが、まずは委員のスキルアップを図り、その輪を会員に広げていきたいと思いま

今年度の全国セミナーで、図らずも情報委員会が発表の任にあたり、急ぎ

部の情報連絡委員会で作成、インターネットを作り、本部より情報(理事会報告・連絡事項など)を発信、また相互の意見・情報交換を行っていきま

今後の課題の一つは、活用のための会員

ご案内
第13回サロンJ
講師 吉村光代会員
テーマ「民間企業に勤務して」
日時 2月18日 1時半~3時半
場所 JAUW事務所
会員委員会



<サロンJ>
●着ものと花へのおもいを語る。
右から河井尚子会員と駒木三枝子会員=写真上
2002年11月
●国際精神里親運動など幅広く語る青木満里子会員=写真下 2002年2月

<新春のつどい>
●メンデルスゾーンを演奏する木村りえさん(社会福祉奨学生)=写真上
●バザー風景(財務委員会)=写真下
2003年1月



婚礼・宴会・宿泊・レストラン

長寿祝・結婚記念祝・叙熱祝...など
ご家族様でのご会食から大勢様のパーティー(立食スタイル)までお慶びの大切な日をおもてなし致します

祝宴プラン
雅 ¥8,800
慶 ¥11,000

アルカディア市ヶ谷 〒102-0073 東京都千代田区九段北4-2-25 TEL 03-3261-9921
JR線・地下鉄(有楽町線・新宿線・南北線)市ヶ谷駅 徒歩2分
http://www.arcadia-jp.org